

●用語の解説

―借入―

■市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税など

■諸収入：貸付金の元利収入など

■繰入金：基金(市の預金)を取り崩したお金など

■地方交付税：地方公共団体の財源調整を目的として国から交付されるお金

■国庫支出金・県支出金：特定の事務事業のために国(県)から交付されるお金  
■市債：市の事業や国の施策により発行した借入金

―支出―

■民生費：福祉、生活保護、子育て支援などの経費

■衛生費：放射能除染、各種検診、予防接種、ゴミ処理などの経費

■総務費：自治振興、庁舎等の管理、選挙などの経費  
■土木費：道路や河川等の整備、市営住宅管理などの経費

■教育費：学校教育や社会教育などの経費

■公債費：市債(市の借入金)の返済などの経費

■災害復旧費：豪雨災害などの復旧経費

※歳出総額には除染関連支出約26億円が含まれています。

## 03 財政健全化判断比率

財政健全化法の規定に基づき、健全化判断比率等をお知らせします

●実質公債費比率

実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどのくらいになるのかを示す指標です。25%を超えると一部の市債発行が制限されます。

●将来負担比率

実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。350%を超えると、国や県が財政運営に関与することとなる早期健全化団体となります。

●実質赤字比率、連結実質赤字比率

赤字だった場合の標準財政規模に占める赤字の割合です。令和3年度は黒字なので、赤字比率は生じません。

健全化判断比率における各比率(直近3カ年)

	R 3	R 2	R 1
実質公債費比率	8.9%	9.3%	9.9%
将来負担比率	45.5%	57.2%	53.2%
実質赤字比率	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—

※上表の比率は、数値が低いほど財政が健全であることを意味します。

## 04 令和3年度 主な施策の決算概要

二本松市総合計画を軸に、さまざまな事業を実施しました

### 健康寿命の延伸

生活習慣病予防事業	1億 194万円
高齢者公共交通運賃無料化事業	8,622万円
芝生広場整備事業	1億7,585万円

### 人口減少対策

妊婦健康診査事業	3,839万円
出産祝金支給事業	1,166万円
特定不妊治療費助成事業、一般不妊治療費助成事業	942万円
定住促進住宅取得支援事業	1,306万円
二本松駅南住宅団地造成事業	4,287万円

### こどもの未来

教育相談推進、生活相談員活用、教育支援センター管理運営事業	394万円
小・中学校改修整備事業	7億6,081万円

### 新型コロナウイルス感染症対策

19億2,843万円

### 地域のちから

市民との協働による地域づくり推進事業	2,937万円
地域担い手育成総合支援事業	1億7,824万円
新規就農支援事業	2億5,702万円
創業支援事業	1億5,832万円
二本松城跡総合整備事業	11億2,360万円
水防対策の充実	3億2,848万円
二本松駅南地区整備事業	2億6,402万円
上水道第7次拡張事業	1億3,587万円



【二本松城跡総合整備事業(にほんまつ城報館)】

# 決算報告

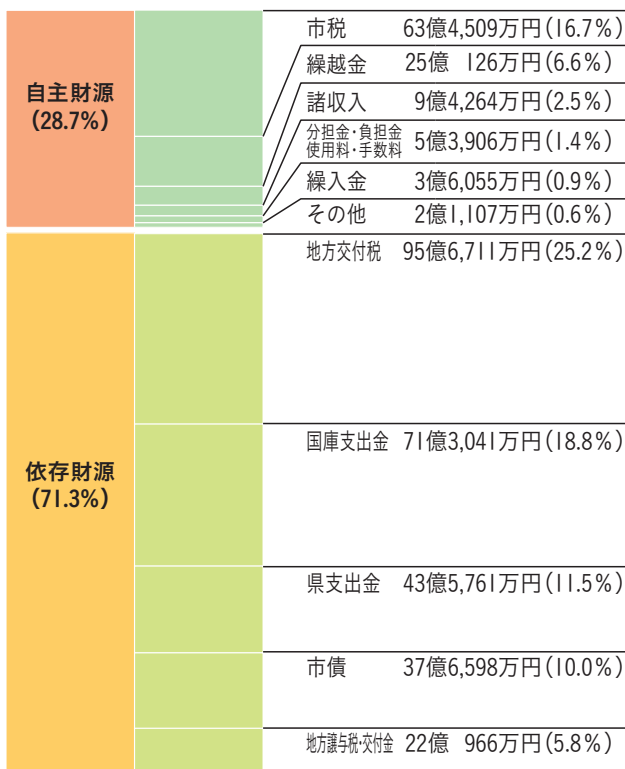
皆さんが納めた「税金」をはじめとして、「市の財産」「市の借金」「国・県からの補助金」などのお金がどのように使われているかを知っていただくため、定期的に財政状況を公表しています。詳細は、決算書および関連資料を財政課(市役所4階)のほか、各支所、住民センター、公民館、図書館に備え付けていますのでご覧ください。

## 01 一般会計 歳入

前年度に比べて46億3,644万円の減額

前年度決算額との比較で、固定資産税の増等による市税の増加はありましたが、国による特別定額給付金事業の減少等により国庫支出金は大きく減少しました。

歳入合計 **379億**3,043万円(前年比10.9%減)

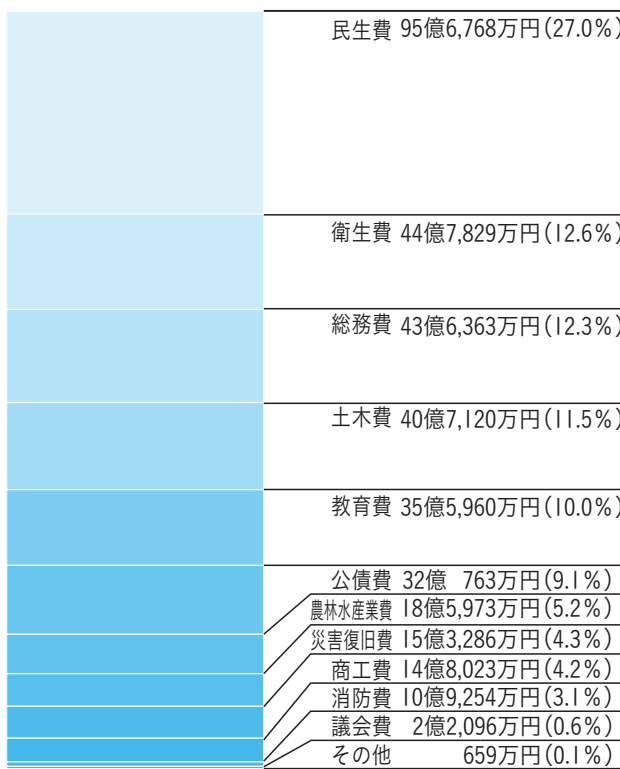


## 02 一般会計 歳出

前年度に比べて46億2,442万円の減額

新二本松市総合計画がより効果的に展開されるよう、主要施策を選定し実施しました。また、原子力災害に係る放射能除染や健康管理対策も、引き続き実施しました。

歳出合計 **354億**4,119万円(前年比11.5%減)



市民1人当たり市税負担額 11万9,963円  
 市民1人当たりに使われたお金 67万67円  
 市民1人当たりの借金 85万3,481円  
 (別表)市債の残高詳細

会計	R3年度末 残高合計	市民1人当たり残高	
		R3年度末	対前年度
一般会計	335億8,872万円	63万5,043円	+2万1,051円
企業会計	115億5,363万円	21万8,438円	▲1万855円
合計	451億4,235万円	85万3,481円	+1万196円

一般会計決算額



歳入総額 379億3,043万円  
 歳出総額 354億4,119万円  
 差引 24億8,924万円

令和4年度へ繰り越すべき財源

3億5,640万円  
 実質収支額 21億3,284万円